

行財政改革への取組み ～ICTの視点からのアプローチ～（茨城県常総市）

取組概要

県内でもいち早く民間からCIO補佐官を登用。的確な助言・指導の下、地域情報化計画に基づき、地域の情報化・電子自治体の構築に取り組んでいる。平成29年度は、「基幹系システムの再調達に合わせた経費削減と業務改善」及び「ペーパーレス会議システムの導入による庁内会議の効率化」を実施。

人口 64,036人
(H30.1.1現在)

担当 情報政策課

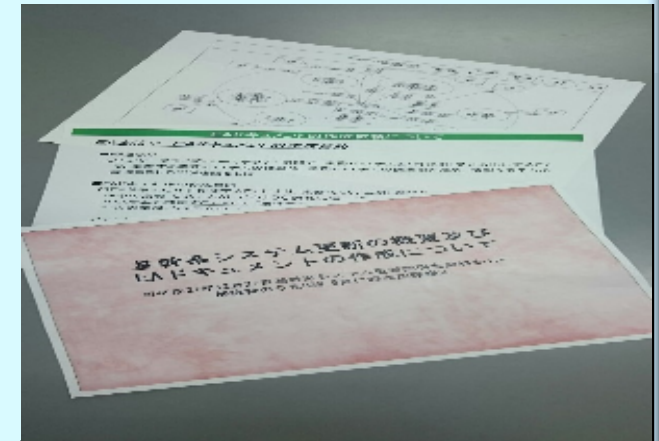
取組の効果

【基幹系システムの再調達に合わせた業務改善と経費削減】

- ・ 調達仕様書の作成のために行った業務の見える化（EAドキュメントの作成）が、業務改善への取り組みに繋がった。
- ・ プロポーザルにおける提案上限価格の約60%で契約を実現。

【ペーパーレス会議システムの導入による庁内会議の効率化】

- ・ 会議準備作業のさらなる効率化と会議進行の円滑化が図られた。



EAドキュメント作成説明資料と成果品

創意・工夫した点

【基幹系システムの再調達に合わせた業務改善と経費削減】

- ・ システム調達の作業を担当者の業務改善への取り組みに繋がった。

【ペーパーレス会議システムの導入による庁内会議の効率化】

- ・ 情報セキュリティ確保のためにオンプレミス型とした。
- ・ 全庁的に活用することを想定し、システム選定と運用方法を検討。

他団体へのアドバイス

【基幹系システムの再調達に合わせた業務改善と経費削減】

- ・ 基幹系システム調達は、各課の業務担当者に大きな負担をかけるため、調達作業に付加価値を見出し、やらされ感を払拭することが必要。

【ペーパーレス会議システムの導入による庁内会議の効率化】

- ・ 調達後は、システムを全庁的に活用できるようにするとともに、各課が自ら運用できる仕組みを構築すると良い。



ペーパーレス会議システムを使った庁議